

8B43 クイックマニュアル

はじめにお読みください

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前に「クイックマニュアル」および「取扱説明書」をお読みいただき、正しくお使いください。

セイコーウォッチ株式会社

全国共通フリーダイヤル 0120-612-911

お客様相談室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル
〒550-0013 大阪府大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

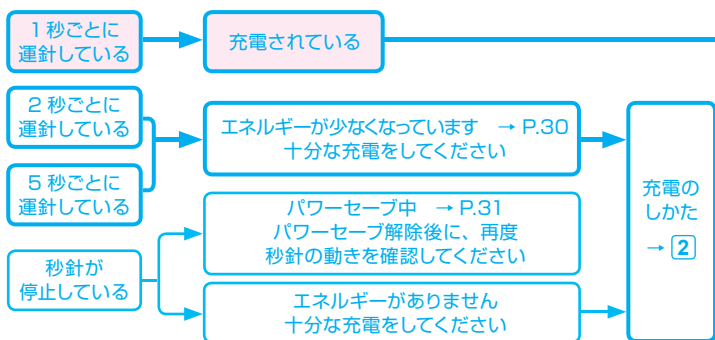
セイコーウォッチ株式会社

本社 〒105-8467 東京都港区虎ノ門 2-8-10
http://www.seiko-watch.co.jp/

① ご使用前に 取扱説明書 P.12 ~ P.13

① エネルギー残量を確認する

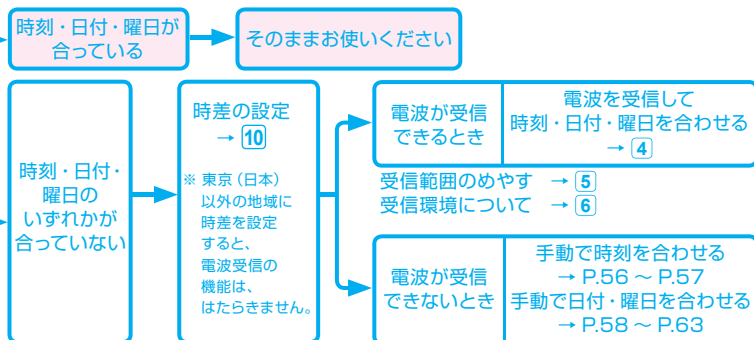
秒針の動きを確認して、エネルギーが不足しているときは充電をしてください。



※ 十分な充電後に1秒運針にならないとき → こんなときは「充電」 P.74

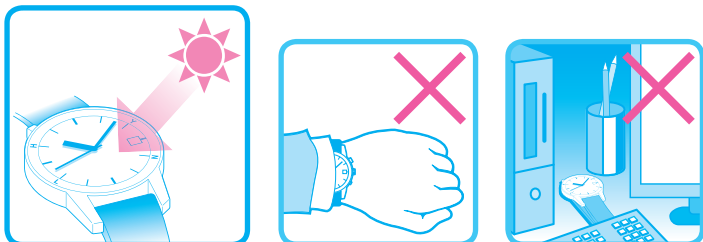
② 時刻・日付・曜日を確認する

※ この時計は、りゅうずを回しても針が動きません。時刻を修正するときは、下記のページを参照ください。



② 充電のしかた 取扱説明書 P.28

文字板に光をあてて充電してください。



快適にご使用いただくために、十分な充電をすることを心がけましょう。

時計を身につけているときに服の袖などで隠れてしまう場合、光のあたりにくい環境での継続的な使用や保管などが続く場合は、充電不足による電池切れが起こる可能性が高くなります。

※ 充電の際は、時計が高温にならないようご注意ください。(作動温度範囲は-10℃~+60℃です。)
※ 使いはじめ、または充電不足で停止していた時計を駆動させるときは、右ページの表をめやすに十分な充電を心がけてください。

③ 充電にかかる時間のめやす 取扱説明書 P.29

下記の時間をめやすに、充電を行ってください。

照度 lx (ルクス)	光源	環境 (めやす)	フル充電まで	確実に1秒運針になるまで★	1日ぶん動かすには
500	白熱球	60W 60cm	—	—	6時間
700	蛍光灯	一般オフィス内	—	—	4時間
1000	蛍光灯	30W 70cm	—	40時間	3時間
3000	蛍光灯	30W 20cm	230時間	6時間	1時間
5000	蛍光灯	30W 12cm	150時間	4時間	35分
1万	蛍光灯	30W 5cm	60時間	1.5時間	15分
	太陽光	<もり>			
10万	太陽光	快晴(夏の直射日光下)	30時間	30分	3分

★ この数値は、止まっていた時計に光をあて【確実に1秒運針になるまで】に必要な、充電所要時間のめやすです。この時間まで充電しなくても1秒運針になりますが、その状態ではすぐに【2秒運針】になる場合があります。この時間をめやすに充電してください。
※ 充電に必要な時間は、モデルによって若干異なります。
※ 運針について → ① エネルギー残量を確認する

④ 電波を受信して時刻・日付・曜日を合わせる 取扱説明書 P.15

■ 自動受信

この時計は、決まった時間に自動的に電波を受信して、時刻・日付・曜日を合わせます。自動受信は、午前2時と午前4時に行われます。

※ 受信に成功した時点で、自動受信を終了します。
※ 電波の受信により、最長12分かかります。

受信のときは時計を、電波を受信しやすい場所に置き、動かさないようにします。 → ⑥ 受信環境について

■ 強制受信

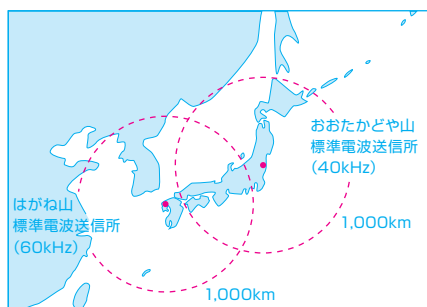
受信しにくい環境などで、自動受信ができないときは、いつでも任意に電波を受信させることができます。

→ 強制受信のしかた P.54 ~ P.55

※ 東京(日本)以外の地域に時差を設定すると、電波受信の機能ははたらかせません。時差の設定を確認してください。 → ⑩ 時差を設定する
※ 受信の成否は受信環境によって左右されます。 → ⑥ 受信環境について
※ 受信範囲の外では電波の受信はできません。 → ⑤ 受信範囲のめやす
※ 受信に成功しても時刻・日付・曜日が合わないとき。 → こんなときは:時刻、針のずれ P.76、日付・曜日のずれ P.78

⑤ 受信範囲のめやす 取扱説明書 P.16

送信所からの受信範囲のめやすは、約1,000kmです。(各送信所を中心に半径1,000km)



NICT(情報通信研究機構)により運用されています。
福島: 40 kHz
おたかどや山 標準電波送信所
九州: 60 kHz
はがね山 標準電波送信所

※ 受信範囲のめやす内でも、条件(天候・地形・建造物・方角などの影響)により、受信できない場合があります。 → ⑥ 受信環境について

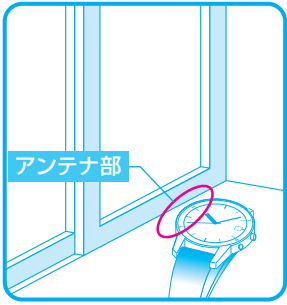
6 受信環境について 取扱説明書 P.17 ~ P.18

■ 受信しやすくするために

窓際などの電波を受信しやすい場所に置いてください。

アンテナは9時位置にあります。アンテナ部を窓の外や送信所の方向に向けると、より受信しやすくなります。

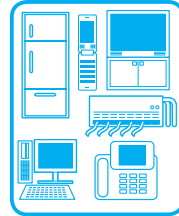
※ 送信所の場所 → ⑤ 受信範囲のめやす



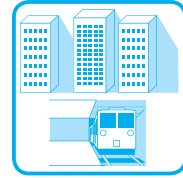
安定した状態で電波を受信するために受信中は、時計の向きを変えたり、傾けたりなどせずに**静止した状態**にしてください。

※ 静止していない状態では電波の受信はできません。

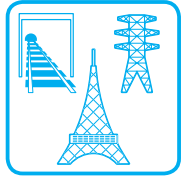
■ 受信しにくい環境



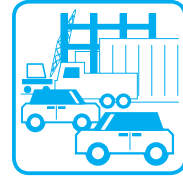
・ テレビ、冷蔵庫、エアコンなど家庭電化製品の近く
・ 携帯電話、パソコン、FAXなどOA機器の近く
・ スチール机などの金属製の家具の上や近く



・ ビルの中、ビルの谷間や地下



・ 高圧線やテレビ塔、電車の架線の近く



・ 工事現場、交通量の多い場所など、電波障害の起こるところ



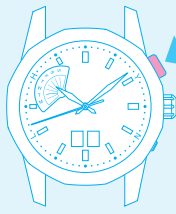
・ 乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）

受信のときは、このような場所を避けてください。

7 受信ができているか確認する（受信結果表示について） 取扱説明書 P.20 ~ P.21

最後に受信した結果（成否）を5秒間表示します。

① ボタンAを1回押して、離す



ボタンA
1回押して
離す

※ ボタンAを3秒以上長押しすると、秒針が【0秒位置】に移動し、強制受信のモードに入ります。その場合はボタンAをもう一度押すと、時刻表示に戻ります。

② 秒針が受信結果を示す

受信できている：Y
10秒位置



受信できていない：N
20秒位置



※ 5秒経過、または途中でボタンAを押すと時刻表示に戻ります。

■ 受信結果がYになったときは

- ・ 受信ができています。そのままお使いください。
※ 受信に成功しても時刻・日付・曜日が合わないとき
→ こんなときは：時刻、針のずれP.76、日付・曜日のずれP.78

■ 受信結果がNになったときは

- ・ **時計を置く場所や向きを変えてみましょう**
受信範囲のめやす内でも、条件（天候・地形・建造物・方角などの影響）により、受信できない場合があります。→ ⑥ 受信環境について
また、受信範囲の外では電波の受信はできません。→ ⑤ 受信範囲のめやす
- ・ **違う時間帯に受信させてみましょう（強制受信の場合）**
同じ場所でも時間帯によって受信環境は異なります。電波の特性により、夜間のほうがより受信しやすくなります。
- ・ **受信できていても、手動で時刻を合わせると受信結果がリセットされてNになります**
※ りゅうすを2段引くと手動時刻合わせのモードに入り、時刻を修正しなくても受信結果がNになります。
- ・ 電波を受信しない場合は、クォーツ時計の精度でお使いいただけます
※ 精度は平均月差±15秒です。

8 時差修正機能の特長 取扱説明書 P.22 ~ P.23

・ 日本を基準にして、海外の時刻に合わせます。

1時間単位で海外の時刻に合わせることができます。世界のほとんどの地域は、1時間単位の時差になっています。日本からみた世界各地の時差は【-20時間から+4時間】です。

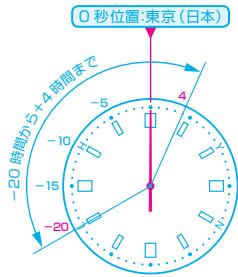
・ 時差を設定すると、

自動で目的地の時刻を表示します。

時差修正機能のモードでは、秒針の位置が時差を表わします。秒針をめやすにボタンを操作して、時差を設定しましょう。

東京（日本）以外に時差を設定すると、電波受信の機能ははたらきません。

- ⑩ 時差を設定する
- ⑨ 世界の主な地域の時差一覧



9 世界の主な地域の時差一覧 取扱説明書 P.26

東京以外のタイムゾーンに時差を設定すると、電波受信の機能ははたらきません。

時差設定 秒針位置	日本からの 時差	代表都市名（タイムゾーン）
51秒	-9時間	★ロンドン/UTC
52秒	-8時間	★パリ/ベルリン
53秒	-7時間	★カイロ
54秒	-6時間	★モスクワ
55秒	-5時間	ドバイ
56秒	-4時間	カラチ
57秒	-3時間	ダッカ
58秒	-2時間	バンコク
59秒	-1時間	香港
0秒	±0時間	東京（日本）
1秒	+1時間	★シドニー
2秒	+2時間	ヌーメア
3秒	+3時間	★ウェリントン
4秒	+4時間	（ウェリントンのDST）

時差設定 秒針位置	日本からの 時差	代表都市名（タイムゾーン）
51秒	-9時間	★ロンドン/UTC
50秒	-10時間	★アゾレス諸島
49秒	-11時間	（リオデジャネイロのDST）
48秒	-12時間	★リオデジャネイロ
47秒	-13時間	★サンティアゴ
46秒	-14時間	★ニューヨーク
45秒	-15時間	★シカゴ
44秒	-16時間	★デンバー
43秒	-17時間	★ロサンゼルス
42秒	-18時間	★アンカレッジ
41秒	-19時間	ホノルル
40秒	-20時間	ミッドウェー島

★印の地域ではサマータイムが導入されています。（2008/1月現在）

10 時差を設定する 取扱説明書 P.24 ~ P.25

① 秒針が停止するまでボタンBを押して、離す（4秒）

▶ 秒針が動いて、時差修正のモードに入ります。

針が動いていない状態が10秒以上続くと、自動的に時刻表示に戻ります。操作途中のときは①から操作をやり直してください。

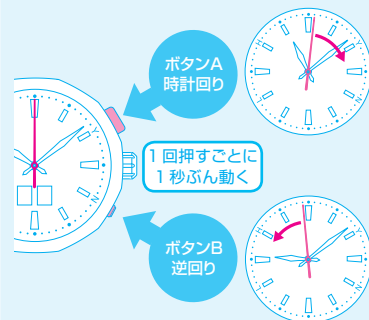


ボタンB
4秒押して
離す

※ ボタンBは先の細いものなどを使って押してください。→ P.10

② ボタンを押して秒針を動かし、時差を設定する

東京（日本）以外では、電波受信の機能ははたらきません。



ボタンA
時計回り

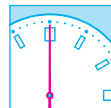
1回押すごとに
1秒ぶん動く

ボタンB
逆回り

※ ボタンは連続して押すことができます。

▶ 秒針の1秒ぶんが、時差の1時間ぶんです。

日本で使うとき
0秒位置に合わせます



その他の地域
で使うとき

世界の主な
地域の時差一覧
→ ⑨

針が動いていない状態が10秒以上続くと、自動的に時刻表示に戻ります。操作途中のときは①から操作をやり直してください。

③ 時分針の動きが止まると10秒後に自動的に時差修正モードが終了

▶ 日付・曜日が変わる場合は、その後で日付・曜針が動きます。

※ 日付・曜針が動いている間は、ボタン・りゅうすの操作はできません。

※ 海外から日本に帰国するときは時差を【0秒位置：東京（日本）】に設定してください。